

## もくじ

- ・ オズのまほうつかい

# オズのまほうつかい

げんさく： ライマン・フランク・ボーム

イラスト： ナナホシ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト



ここは アメリカ、カンザスしゅうの いなかまち。  
ひろい のはらの まんなかにある、  
いっけんの のうかに、『ドロシー』という、  
とてもげんきな おんなのこが すんでいました。

そのひ、ドロシーは かいいぬの トトと  
いっしょに、いえで るすばんをしていました。  
ドロシーが にかいのへやの まどから、  
トトと いっしょに そとをながめていると、  
きたのほうから、おおきな たつまきが、  
こちらにむかって ちかづいてくるのが  
みえました。

「たいへん！ ちかしつに にげましょう、トト！」

ドロシーは トトをだきあげて、  
あわてて へやをとびだしました。  
ドロシーが ちかしつの とに てをかけた  
しゅんかん、きょうふうが まどをつきやぶって、  
ドロシーたちをおそいました。

ドロシーと トトは、  
いえごと たつまきに のみこまれて、  
そらたかく まきあげられてしまいました。





とつぜん、ドーンという おおきな おとと  
ともに、いえが はげしく ゆれました。

どうやら ドロシーたちは、  
たつまきに はこばれて、  
いえごと どこか べつのとちに  
とばされてしまったようです。

ドロシーは、げんかんの ドアをあけました。

「まあ、きれい！ ここは どのなのかしら！？」

なんと、ドロシーの めのまえに、  
うつくしい みどりの そうげんが  
ひろがっていたのです。  
そして すぐちかくに、ひとりの おばあさんが  
たっていました。  
おばあさんは、えがおで ドロシーに  
はなしかけてきました。

「ありがとう、おじょうちゃん。  
わるい まじよを やっつけてくれたんだね」  
「なんのことですか？」  
「ほら、そとにでて、いえのしたを  
みてごらんなさい」

